

2023 な な さ と

㊤るほど ㊤っとく ㊤あ ㊤りくむぞ！やって伸びる七里っ子！



R5. 5. 19 (金)

第11号

文責：校長 川添
七里小学校

わくわく・にこにこ心ときめく10分間！

5月17日、今年度もPTAの皆さんによる朝の「読み聞かせタイム」がスタートしました。

絵本や活動との出会い、そして、何よりPTAの皆さんとの出会いややり取りが楽しみで、「読み聞かせ」は、子どもたちにとって、心ときめく月に一度のお楽しみタイムになっています。

初めての1年生も、あっという間にお話の世界に引き込まれていました。



読み聞かせを終えた後は、校長室でちょっと一息情報交換タイムです。「子どもたちが**本当に集中して聴いてくれる**ので、びっくりしました。」「保育園とは違う雰囲気で、**みんなが最初からいい姿勢で聴いてくれる**ので、緊張しました！」「七里の子たちは、**本当にかわいらしくて、ステキ！**」などなど・・・会話が弾んでいました。

和やかな雰囲気に引き込まれ、ついつい「家庭科の裁縫指導の時、お手伝いしていただける方がいると助かるのですが・・・」と、読み聞かせとは全く関係のない相談まで持ちかけてしまった私。すると、「あっ、裁縫なら

お手伝いします！」「地域にお住いの〇〇さんも裁縫が得意ですから、声をかけてみましょうか。」と、あっという間に学校の悩みが解決できました。PTAの皆さんの学校教育に対する協力的な姿勢と温かな思いを目の当たりにして、私にとっても心ときめく朝になりました。

体育館いっぱいになべられた本に 目を輝かせた選書会！

昨日の3・4時間目に、高知市の絵本専門店「コッコ・サン」をお招きして選書会を行いました。子どもたちは、ジャンル別に体育館いっぱいになべられた約900冊の本の中から気に入った物を次々に手に取り、中を確かめていました。そして、じっくり読みたいと思う5冊を選んで投票用紙に記入しました。



選書会の最初にコッコ・サンが本の紹介をしてくれました。クライマックスの直前であらずし紹介を止めたり、心に残った場面を1～2か所だけ紹介したり・・・子どもたちがその本を手にとってみたいくなる工夫がいっぱいで、子どもたちの目が一気に輝いていました。

多くの子どもたちに選ばれポイントが高かった本から順に予算の範囲内で購入し図書室に置く予定です。

自分たちが選んだ本が図書室に入ること、子どもたちは、今まで以上に図書室に行きたくなるだろうと思います。

「ぼくは、〇〇を選びました。」と一生懸命コッコ・サンにアピールする子どももいました！みんな自分が選んだ本が図書室に入るのを楽しみにしています。



「読もっか」に掲載されたよ！

5月16日付

70歳になったおばあちゃんのお希のお祝いに、いところと一緒に歌や色紙のプレゼントをした樹稀さん！記事を読んでいると、おばあちゃんの喜ぶ顔をうれしそうに見つめる樹稀さんの様子が目に浮かび、心がほんわかしてきます。

誰かのことを大切に思って何かをするって、ステキですね。樹稀さんたちがプレゼントしてくれた色紙は、おばあちゃんの宝物になるだろうと思いました。

古希おめでとう

★四万十町・七里小★

4月29日は高知のおばあちゃんの日で誕生日でした。70歳になりました。70歳は古希というお祝いをします。

おばあちゃんをびっくりさせるために、いところとグループ通話をして、歌を歌いました。サプライズです。プレゼントの色紙をわたすと、おばあちゃんはとてもうれしかったようで泣いていました。

ごはんはお寿司を食べました。食べ終わると、お母さんが作ったイチゴタルトを食べました。楽しかったです。おばあちゃんが喜んでくれてうれしかったです。

(5年、古谷樹稀記者)